

【第208回国会】

(1) 委員名簿 (25人)

委員長	阿部	知子君	立民						
理事	秋葉	賢也君	自民	理事	國場	幸之助君	自民		
理事	鈴木	隼人君	自民	理事	堀井	学君	自民		
理事	石川	香織君	立民	理事	大島	敦君	立民		
理事	杉本	和巳君	維新	理事	稲津	久君	公明		
	東	国幹君	自民		井野	俊郎君	自民		
	伊東	良孝君	自民		小淵	優子君	自民		
	尾身	朝子君	自民		島尻	安伊子君	自民		
	高木	宏壽君	自民		武井	俊輔君	自民		
	宮崎	政久君	自民		山口	晋君	自民		
	新垣	邦男君	立民		山岸	一生君	立民		
	吉田	豊史君	維新		金城	泰邦君	公明		
	長友	慎治君	国民		赤嶺	政賢君	共産		

(2) 設置の目的

沖縄及び北方問題に関する対策樹立のため

(3) 議案審査

付託された議案は内閣提出法律案1件で、審査の概況は次のとおりである。

沖縄振興特別措置法等の一部を改正する法律案（内閣提出第21号）

○ 要旨

沖縄の置かれた特殊な諸事情に鑑み、その一層の振興を図るため、沖縄振興特別措置法等の有効期限を延長するとともに、事業者が作成する観光地形成促進措置実施計画等について沖縄県知事の認定制度を新設するほか、駐留軍用地が段階的に返還される場合の拠点返還地の指定要件を緩和する等の措置を講ずるもの

○ 審査結果

可決（附帯決議が付された。）

○ 審査経過

提出日	衆・本会議	衆・委員会			衆・本会議	参・委員会	参・本会議	公布日 番 号
	趣旨説明	付託日 趣旨説明	質疑	議決日 結 果	議決日 結 果	議決日 結 果	議決日 結 果	
令和 4. 2. 8		3. 3	3. 7 3. 9	3. 9 可決(全) (賛-自民・立民・維新・ 公明・国民・共産) (附)	3. 10 可決	ODA 沖縄北方特 3. 30 可決 (附)	3. 31 可決	3. 31 法7号

(4) 国政調査

国政調査では、質疑、決議及び委員派遣が行われた。主な質疑内容は、次のとおりである。

○ 主な質疑内容

- ・ 「強い沖縄経済」を実現するために沖縄県が重点的に取り組むべき課題についての政府の認識
- ・ 沖縄科学技術大学院大学（OIST）の教育研究面での世界的な評価及び地域との連携強化における課題
- ・ 沖縄本島南部地域の道路整備促進
- ・ 沖縄における英語教育に係る予算措置を含めた政府の今後の対応方針
- ・ 日米地位協定の改定についての外務大臣の所見
- ・ 石垣市の陸上自衛隊配備計画に関する課題及び進捗状況
- ・ 在日米軍のコロナ対策について日本国内と同等の対策を求めるべきとの考えについての外務大臣の所見
- ・ ロシアによるウクライナ侵略の北方四島交流等事業への影響
- ・ 「日ロさけ・ます漁業交渉」の進捗状況
- ・ 日本政府のロシアに対する今後の外交、貿易、経済交流等の分野における基本方針

(5) 決議

決議は1件で、その内容は次のとおりである。

沖縄の本土復帰50年及び沖縄問題の解決促進に関する件（令和4.4.21）

本委員会は、本年5月の沖縄の本土復帰50年の節目にあたり、沖縄問題に関する対策の樹立を使命とする特別委員会として、ここに改めて、沖縄が抱える問題の解決に向けて最大限の努力を払う決意を表明する。

昭和47年5月の沖縄の本土復帰以来、沖縄振興特別措置法等に基づく5次にわたる振興策の実施と、県民の不断の努力とによって、特に、社会資本整備の面で本土との格差是正が図られるとともに、観光リゾートや情報通信関連分野における産業の振興等、沖縄の経済社会は、総体として発展してきた。

しかしながら、国土面積0.6%の沖縄に、今なお米軍専用施設面積の70.3%が集中していることに加え、1人当たり県民所得は全国平均の7割程度であり、子どもの貧困や労働生産性の低さなど、沖縄には解決すべき課題が残されている。政府においては、引き続き、沖縄における米軍施設・区域の整理縮小及び早期返還の実現に努めるなど、これらの課題の解決に取り組むとともに、新たな沖縄振興特別措置法等に基づく振興策において、沖縄の自立的発展と県民の生活向上に資するよう、地元の意思を十分尊重して推進することを求める。

また、政府は、新型コロナウイルス感染症等の指定感染症・検疫感染症の流行時においては、地域の経済社会活動への影響を最小限にとどめるため、沖縄県等の要望を踏まえ、在日米軍に対し感染拡大防止措置の徹底など、米軍基地から派生する諸問題の解決のため、事態の抜本的改善に取り組むべきである。

平成12年の「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の世界遺産への登録等によって、琉球王国の歴史や貴重で魅力ある琉球文化は世界的にも高く評価されており、その象徴たる首里城は、まさしく県民の心の拠り所である。政府においては、その復興を推進するとともに、沖縄県等とも連携し、沖縄独自の歴史・文化の継承や保存を図り、あわせて国内外への積極的な発信を促進することを求める。

沖縄が有する地理的特性は、長らく特殊事情として克服すべき条件不利性とされてきた。しかし、成長著しい東アジアの中心に位置する優位性として、沖縄の潜在力

を最大限に引き出す可能性を秘めている。沖縄が、文化、教育、経済、外交等の様々な分野における多元的交流の推進や世界に広がるウチナーンチュのネットワークを基軸とした人的基盤を通じて、21世紀の「万国津梁」を形成し、沖縄の自立的発展のみならず、我が国ひいてはアジア・太平洋地域の持続的発展、信頼醸成にも貢献するよう、政府においては最大限の努力をもって、その実現に努めるべきであり、我々もまた、その一翼を担うものである。

右決議する。

(6) 委員派遣

派遣日	派遣地名	派遣目的	派遣委員
(閉会中) 令和 4. 7. 12 ～ 7. 13	沖縄県	沖縄問題に関する実情調査	8人



D i D i 与那国交流館（沖縄県与那国町）

【第209回国会】

(1) 委員名簿 (25人)

委員長	阿部	知子君	立民						
理事	秋葉	賢也君	自民	理事	國場	幸之助君	自民		
理事	鈴木	隼人君	自民	理事	堀井	学君	自民		
理事	石川	香織君	立民	理事	大島	敦君	立民		
理事	杉本	和巳君	維新	理事	稲津	久君	公明		
	東	国幹君	自民		井野	俊郎君	自民		
	伊東	良孝君	自民		小淵	優子君	自民		
	尾身	朝子君	自民		島尻	安伊子君	自民		
	高木	宏壽君	自民		武井	俊輔君	自民		
	宮崎	政久君	自民		山口	晋君	自民		
	新垣	邦男君	立民		山岸	一生君	立民		
	吉田	豊史君	維新		金城	泰邦君	公明		
	長友	慎治君	国民		赤嶺	政賢君	共産		

(2) 設置の目的

沖縄及び北方問題に関する対策樹立のため

(3) 議案審査

付託された議案はなかった。

【第210回国会】

(1) 委員名簿 (25人)

委員長	松木けんこう君	立憲					
理事	城内 実君	自民	理事	島尻 安伊子君	自民		
理事	鈴木 貴子君	自民	理事	堀井 学君	自民		
理事	神谷 裕君	立憲	理事	道下 大樹君	立憲		
理事	杉本 和巳君	維新	理事	金城 泰邦君	公明		
	伊東 良孝君	自民		小淵 優子君	自民		
	小泉 進次郎君	自民		國場 幸之助君	自民		
	鈴木 隼人君	自民		高木 宏壽君	自民		
	武部 新君	自民		西銘 恒三郎君	自民		
	宮崎 政久君	自民		渡辺 孝一君	自民		
	小川 淳也君	立憲		篠原 豪君	立憲		
	金村 龍那君	維新		稲津 久君	公明		
	長友 慎治君	国民		赤嶺 政賢君	共産		

(2) 設置の目的

沖縄及び北方問題に関する対策樹立のため

(3) 議案審査

付託された議案はなかった。

(4) 国政調査

国政調査では、質疑が行われた。主な質疑内容は、次のとおりである。

○ 主な質疑内容

- ・ 沖縄振興公共投資交付金事業において市町村分予算の確保のために市町村の意見を反映する機会を創出する制度改善の必要性
- ・ 沖縄本島の「ハシゴ道路」の整備に特化した時限的な高率補助制度創設の必要性
- ・ 沖縄における起業家育成のための沖縄在住者に対するインセンティブの現状及び政府の方針
- ・ 安全保障の観点からも沖縄の離島地域のサトウキビ産業を守る必要性についての沖縄及び北方対策担当大臣の所見
- ・ 石垣島にあるラムサール条約湿地の名蔵アンパル付近における大規模なゴルフリゾート計画に伴う地下水の取水が周辺環境に与える影響
- ・ 元島民の北方領土墓参に対する思いについての外務大臣の認識
- ・ 元島民及び関係者に対し北方四島交流等事業の今後の見通しを丁寧に説明する必要性
- ・ 最近の外交青書における北方領土問題に関する記載内容変化の理由
- ・ 北方四島交流等事業が実施されていない期間において同事業使用船舶「えとぴりか」を若年世代への啓発に活用することについての沖縄及び北方対策担当大臣の所見